

価格の改定を実施させていただく場合がございます。
最新価格につきましては、お問い合わせ下さい。

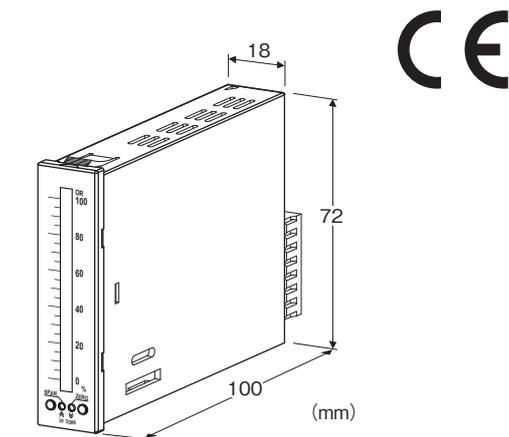
形式:48SV2

バーグラフ指示計 48 シリーズ

バーグラフ小形指示計

主な機能と特長

- 51バードットタイプの各種計装パネル用
- LED使用で、遠くからでも鮮明
- 着脱可能な目盛板
- 着脱可能なスプリング式端子台(2ピース端子台のみ)
- 上下限のオーバーレンジを表示
- 前面からZERO、SPAN調整可能



形式:48SV2-①②③④-⑤

価格

基本価格 24,200円

加算価格

2ピース端子台 +600円

バー表示色 青 +2,200円

保守品

目盛板 3,000円

ご注文時指定事項

・形式コード:48SV2-①②③④-⑤

①～⑤は下記よりご選択下さい。

(例:48SV2-RV4WD-R)

・目盛仕様(「目盛仕様のご指定方法」の項参照)

①バー表示色

R:赤

Y:黄

G:緑

B:青

②取付方向

V:縦取付

H:横取付

③入力信号

◆電流入力

A:4~20mA DC(入力抵抗 10Ω)

B:2~10mA DC(入力抵抗 20Ω)

C:1~5mA DC(入力抵抗 39Ω)

D:0~20mA DC(入力抵抗 10Ω)

E:0~16mA DC(入力抵抗 12Ω)

F:0~10mA DC(入力抵抗 20Ω)

G:0~1mA DC(入力抵抗 200Ω)

H:10~50mA DC(入力抵抗 5.1Ω)

Z:指定電流レンジ(入力仕様参照)

◆電圧入力

3:0~1V DC(入力抵抗 1MΩ以上)

4:0~10V DC(入力抵抗 1MΩ以上)

5:0~5V DC(入力抵抗 1MΩ以上)

6:1~5V DC(入力抵抗 1MΩ以上)

4W:-10~+10V DC(入力抵抗 1MΩ以上)

5W:-5~+5V DC(入力抵抗 1MΩ以上)

0:指定電圧レンジ(入力仕様参照)

④端子台形状

S:1ピース端子台

D:2ピース端子台(着脱可能)

⑤供給電源

◆直流電源

T:5V DC(許容範囲 ±10%、リップル含有率 10%p-p以下)

R:24V DC(許容範囲 ±15%、リップル含有率 10%p-p以下)

保守品

・目盛板

機器仕様

構造:パネル埋込形

接続方式

・1ピース端子台:スプリング式端子台

適用電線サイズ:0.13~1.5mm²、剥離長 8mm

・2ピース端子台:コネクタ形スプリング式端子台

適用電線サイズ:0.5~1.5mm²、剥離長 7~8mm

ハウジング材質:難燃性灰色樹脂

アイソレーション:入力電源間

ゼロ調整精度保証範囲:-10~+10%(前面から調整可)

スパン調整精度保証範囲:90~110%(前面から調整可)

目盛板:難燃性黒色樹脂(着脱可能構造、白文字)

ゼロ調整状態表示ランプ:ゼロ調整時 緑色点灯

スパン調整状態表示ランプ:スパン調整時 緑色点灯

入力サンプリング周期:100回/s

使用湿度範囲:10~90%RH(結露しないこと)

取付:パネル埋込形

質量:約90g

性能(スパンに対する%で表示)

基準精度:±2%±1digit

応答時間:0.5s以下

絶縁抵抗:100MΩ以上/500V DC

耐電圧:入力電源-大地間 2000V AC 1分間

適合規格

適合EU指令:

電磁両立性指令(EMC指令)

EMI EN 61000-6-4

EMS EN 61000-6-2

RoHS指令

バーグラフ表示

表示:LED

バードット数:55(0~100%表示部 51ドット)

バー表示寸法:高さ56mm、幅 3.5mm

表示範囲:0~100%(スケール機能はありません。1ドット目と55ドット目はオーバーレンジ時に点灯し、2ドット目と54ドット目は点灯しません。)

目盛

・目盛の数値:最大4桁

(小数点とマイナス「-」符号を含みます。)

・区分数(目数):最大50

・単位記号:半角で最大4文字(全角の場合最大2文字)

入力仕様

■電流入力

入力抵抗:入力抵抗器を内蔵します。

入力抵抗値を指定する場合は、次の値からの選択となります。

5.1Ω、10Ω、12Ω、20Ω、39Ω、200Ω

●製作可能範囲

・入力電流範囲:0~50mA DC

・スパン:1~50mA

■電圧入力

入力抵抗:1MΩ以上

●製作可能範囲

・入力電圧範囲:-10~+10V DC

・スパン:0.1~20V

・入力バイアス:入力スパンの1.5倍以下

設置仕様

消費電力

直流電源:

定格電圧 5V DCの場合 0.8W以下

定格電圧 24V DCの場合 1.0W以下

使用温度範囲:-5~+55℃

目盛仕様のご指定方法

1. 目盛仕様のご指定方法

目盛仕様は次に示す2つの方法で指定することができます。

①「目盛板作成ツール」を利用

弊社ホームページにある、「目盛板作成ツール」にアクセスして下さい。
その場で目盛板をデザインすることができます。

下記の機能により、スタンダードなデザインも、オリジナルなデザインも簡単に作成できます。

<自動作成機能>

目盛に対する最小値、最大値、単位を入力いただくだけで自動的に目盛板を作成します。
作成される目盛区分数の最大値は「50」です。

<目盛間隔指定機能>

アプリケーションに合わせて目盛の間隔を指定できます。

<区分数指定作成機能>

目盛の区分数、線の長さ、位置、文字のサイズ、フォント、微細な位置などオリジナルで作成できます。

デザインができたなら登録ナンバーを発行します。このナンバーと共にご注文いただけます。
一度デザインした目盛板は記録されますので、後で何度でもご利用いただけます。

②ご注文時に目盛範囲と表示単位を指定

目盛範囲と表示単位をご指定いただくだけで製作することができます。

区分数、区分線の長さ、文字フォントなど、目盛板のデザインについては上記<自動作成機能>と同様となり、弊社に一任となります。

2. 自動作成機能による目盛のデザイン

ここでは、自動作成機能によって、どのように目盛のデザインが生成されるかについて概略を示します。

目盛のデザインは、目盛値のスパンにより5種類に分類されます。

$$\text{目盛値のスパン} = (\text{最大目盛値} - \text{最小目盛値}) \times 10^n$$

n=整数 (目盛値のスパンが1.1以上、11.0未満になるようにnを決めます。また、この値で目盛の刻み数が決まります。)

①目盛値のスパンが1.1以上1.3未満

区分：22~25.9

目盛値表示：0を基準に、nの値によって0.02/0.2/2/20/200刻みで表示します。
また、最大値と最小値は必ず表示し、桁数は4桁 (マイナス符号と小数点を含む) となります。

区分線：大、小、中、小、大
(4区分毎のパターンの繰返し)

②目盛値のスパンが1.3以上2.0未満

区分：26~39.9

目盛値表示：0を基準に、nの値によって0.03/0.3/3/30/300刻みで表示します。
また、最大値と最小値は必ず表示し、桁数は4桁 (マイナス符号と小数点を含む) となります。

区分線：大、小、中、小、中、小、大
(6区分毎のパターンの繰返し)

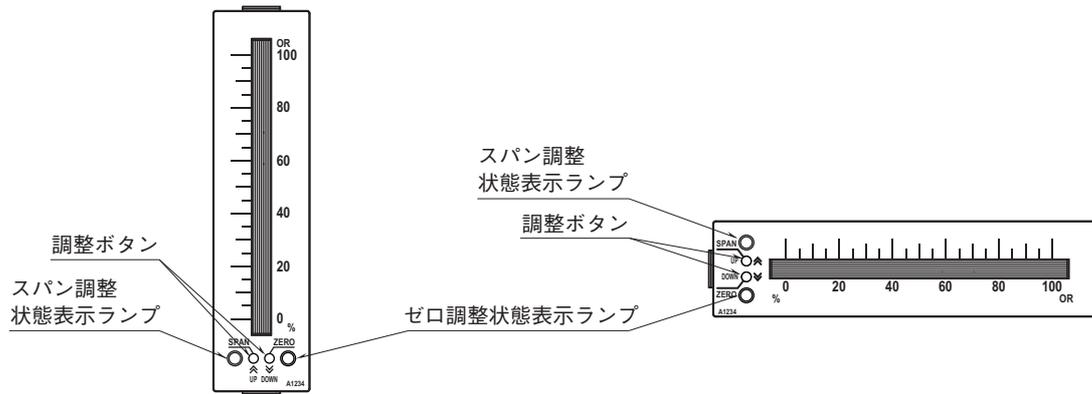
最小区分の場合	最大区分の場合	両極性表示の場合
— 11	— 1.29	— 600
— 10	— 1.2	— 400
— 8	— 1	— 200
— 6	— 0.8	— 0
— 4	— 0.6	— -200
— 2	— 0.4	— -400
— 0	— 0.2	— -600

最小区分の場合	最大区分の場合	両極性表示の場合
— 130	— 1.99	— 0.8
— 120	— 1.8	— 0.6
— 90	— 1.5	— 0.3
— 60	— 1.2	— 0.0
— 30	— 0.9	— -0.3
— 0	— 0.6	— -0.6
	— 0.3	— -0.8
	— 0	

パネル図

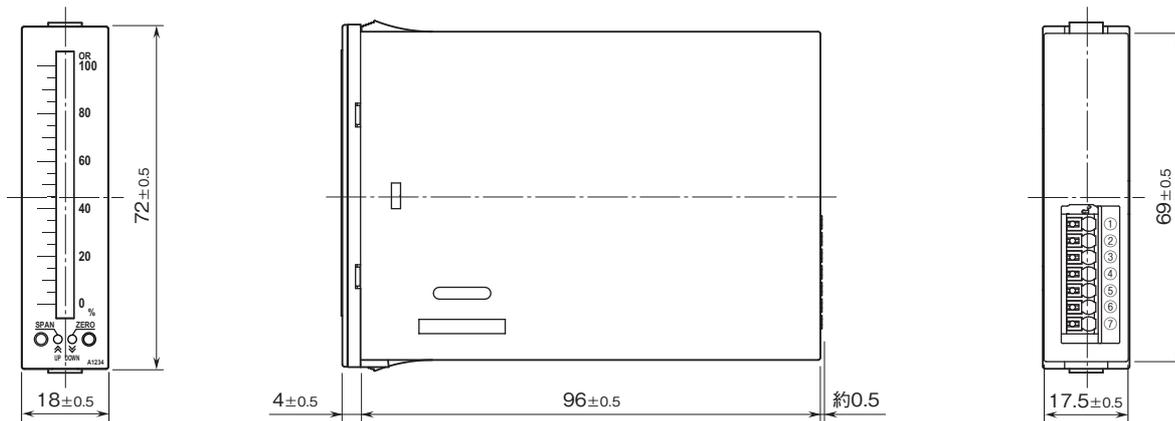
●縦取付

●横取付

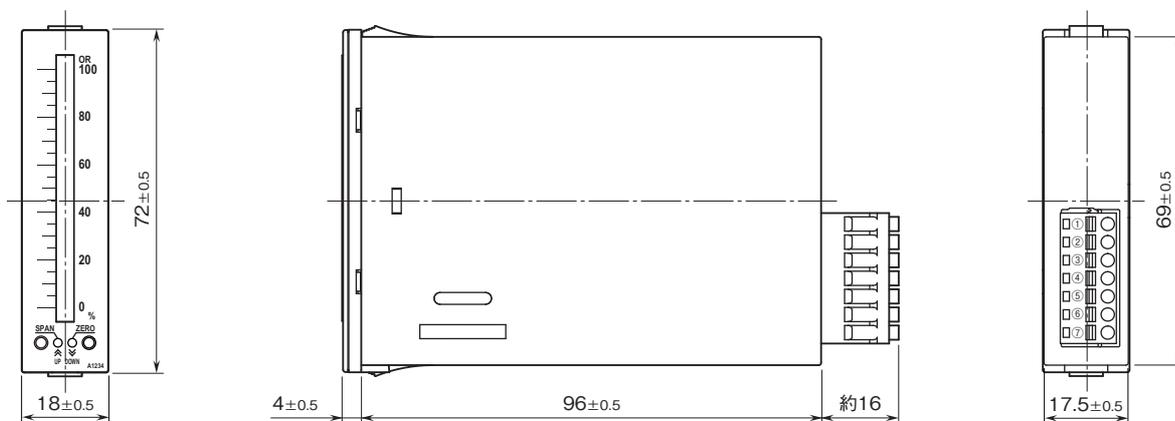


外形寸法図(単位:mm)・端子番号図

■1 ピース端子台の場合



■2 ピース端子台の場合

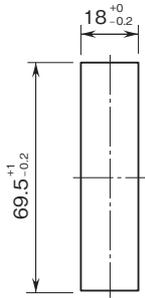


取付寸法図(単位:mm)

■パネルカット寸法

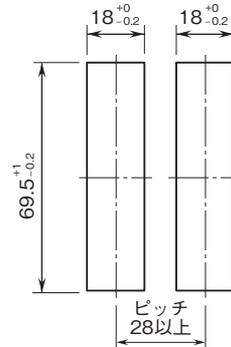
●縦取付の場合

・単体取付



取付板厚: 0.5 ~ 2.0

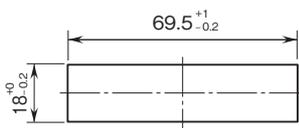
・多連取付



取付板厚: 0.5 ~ 2.0

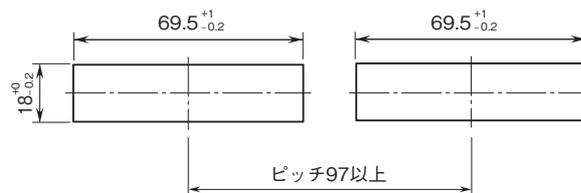
●縦取付の場合

・単体取付



取付板厚: 0.5~2.0

・多連取付

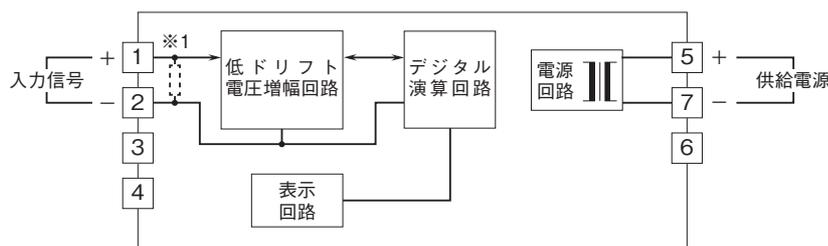


取付板厚: 0.5~2.0

※1、縦取付時は本体より上下にそれぞれ3 cm以上、左右にそれぞれ1 cm以上の空間を空けて下さい。

※2、横取付時は本体より上下にそれぞれ3 cm以上、左右にそれぞれ2.5 cm以上の空間を空けて下さい。

ブロック図・端子接続図



※1、電流入力時には内部に入力抵抗器が付きます。



- 記載内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
 - ご注文・ご使用に際しては、弊社ホームページの「ご注文に際して」を必ずご確認ください。
 - 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
安全保障貿易管理については、弊社ホームページより「輸出（該非判定）」をご覧ください。
- お問い合わせ先 ホットライン：0120-18-6321